

第3回三次市観光戦略策定検討委員会 議事要旨

■日 時	令和6年1月12日 14時30分～16時20分
■場 所	三次市役所本館6階605会議室

■名簿(敬称略)		
策定委員	所属・役職	出欠の有無
富川 久美子	広島修道大学商学部 教授	○
永江 博之	(一社)三次観光推進機構 専務理事	○
八谷 直之	三次商工会議所 専務理事	○
中宗 久之	三次広域商工会 事務局長	○
玉垣 雅史	(一社)広島県観光連盟 インバウンド事業部長	○
平田 真一	有限会社平田観光農園 取締役社長	○
實兼 利光	備北交通株式会社 取締役統括本部長	○
池田 美咲	三次グランドホテル 支配人	○
角佛 里英	みよしアントレーヌ	○
岡田 アントニールイス	株式会社なちゅbio 取締役	○
野々原 ゆか	三次観光アンバサダー	—
事務局		
中廣 晋	三次市産業振興部長	
押谷 水砂	三次市産業振興部商工観光課長	
小山 知秀	三次市産業振興部商工観光課観光振興係長	
重廣 真理子	三次市産業振興部商工観光課観光振興係主任	

■議事次第

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 資料説明
4. 意見交換
5. その他
6. 閉会

■議事要旨

1. 開会
2. 委員長挨拶
3. 資料説明
4. 意見交換

(副委員長)

- ・入込率を指標とするならば、過去の動向がわかるように、入込率の推移を入れ、KPI と対比できるようにしてはどうか。
- ・外国人も同様で、目標値として設定したものが、納得できるような実績が必要ではないか。
- ・観光庁のガイドラインでは、DMO の優先課題として着地整備を行うこととされていることから、「観光客の受入体制の整備」という表現を「着地整備」に変えてほしい。
- ・三次市は観光資源が豊富なので DMO は地域商社を目指していないことから、” 組織的なオンライン販売” は目標となっておらず実施していないので、” できていない” という表現を見直してほしい。本戦略で目指すならば実施しなければいけないと考えている。

(委員)

- ・外国人の推移のうち、庄原市の R3 は異常値ではないかと思われるので、R2 年までを対比したらどうか。

(委員)

- ・コロナ前の R 元年だけの比較でも良いのではないか。コロナ後の落ち込みも比較したいならば R2 年まででよいと思う。

(委員)

- ・仕事で来訪する人の立ち寄り先を増やすことも観光の伸びしろとなり得る。仕事での来訪者のみでなく、その家族やリピーターもつながるのではないか。そこで、観光者の構成別(家族、高齢者、夫婦など)のデータがあれば、それも整理してはどうか。
⇒ ・入込率がわかるような資料入れること。
 - ・庄原市の比較については、どのように表現するのか検討すること。
 - ・DMO が来訪者の構成別のデータをとっており、来訪者の構成別を追加すること。また、ビジネス客を観光に誘致することを戦略に加えること。
 - ・「着地整備」という表現については、国の表現を確認すること。
 - ・組織的なオンライン販売については削除。念のため第1次戦略を確認すること。

(委員長)

- ・「第2章 観光の現状と社会情勢」とあるが、詳しい記載がないようなので「社会情勢」という表現は不要ではないか。
- ・DMO の取組は3章にあったほうが良いのではないか。「第1次戦略の評価」、「みよし DMO の取組」、「第1次戦略の概要と主な取組」の順がよいと考える。
- ・「第1次戦略の検証」の後に、「観光の現状」を入れて4章以降へ続いたほうがよいのではないか。
- ・上位計画は1章に入れたほうがよいのではないか。
- ・1~3章を1, 2章でまとめられるのではないか。8章構成は多すぎる。章の整理が必要ではないか。
- ・目的別にみるとビジネスによる訪問者はどのくらいの割合になるのか。また、どのような調査を実施しているのか。
⇒ (副委員長) 仕事と観光は概ね半々。過去3か月以内に三次を来訪したことがある人から毎月市外

100人、市内50人を対象に12か月連続でネット調査を実施している。結果はDMOのホームページから取得できる。

(副委員長)

- ・入込率は、広島県77%、広島市88%、庄原市78%で、三次市は68%。相対的に三次市は入込率が低いので目標値を目指す理由を明確にした方がよい。消費額を増加するためには入込率の増加が必要で入込率が上がれば消費額や宿泊額も上がる。
- ・コロナ前でも観光客数は7,200人程度であり、指標⑤外国人宿泊客数の目標値が高く、達成は難しいと思う。指標③外国人宿泊者数も同様に達成は難しいと思う。

(委員)

- ・外国人の観光客数、宿泊客数はあるが、日本人はないのか。じっくりこない。
- ・年次でお金の価値が変わるのではないのか。長い目で見る目標ならば、観光消費額はそれを考慮した設定でないと、単価が下がった目標となるのではないのか。ホテルと観光地がコラボして客単価を上げるなどをして、満足度が下がらないような戦略を考えないと、関係者のやる気が出ないのではないのか。

(委員)

- ・目標値と比較するならばコロナ前の数値(令和元年時)を入れたほうがいいのか。
 - ・数字を追わないという方針をどこかで明記したほうがいいのか。観光消費額もだいぶ低い目標値を設定していると感じる。
- ⇒(副委員長)観光消費額はDMOの目標として必要。観光消費額は低そうに見えるが、市内の宿泊施設平均稼働率が82%くらいないと達成できない数値。入込率と宿泊客数も観光消費額に連動するので必要。三次市の消費額、宿泊客数は日帰りの観光消費額の4.7倍である。

(委員)

- ・令和4年はコロナ時であり、観光的にはあまり意味がない年次だと思う。
- ・広島市から三次市への行き方が分からないという声を聞く。外国人は鉄道よりバス利用が多いが、三次方面への乗り方がわからない。
- ・交通と宿泊施設との連携も必要だと思う。送迎バスもあるがタクシー需要を奪うので運営が難しい。
- ・三次市では多くのスポーツに取り込んでおり、誘致を進めている。

(委員)

- ・交通について満足できないなどの課題が出てくるので、今後の課題の中で、交通問題も触れてほしい。例えば二次交通なのか沿岸からのアクセスなのかなど、もう少し踏み込んだ目標を挙げてほしい。

(委員)

- ・MaaSなど、オンデマンドが必要だと思う。外国人の予約が入るが、三次市にたどり着けないことから、実際に来訪できない外国人観光客もいる。

(副委員長)

- ・外国では配車アプリが標準だが、三次市にはない。

- ・着地整備をする前に、三次市への行き方がわからない。広島市の時刻表に外国語表示がない。
- ・三次市までのアクセスが整備されないと3万人は呼べない。

(委員)

- ・3年後にはスポーツコミッションの設立予定であり、スポーツのまちみよしとあり、施策にスポーツを入れることはできないか。

⇒・入込率がわかるような資料入れること。(再掲)

- ・入込率は広島県なども踏まえて再検討すること。
- ・指標②に内数として外国人観光客を入れることを検討すること。また、指標④宿泊客数に内数として外国人宿泊数を入れ、指標③、指標⑤を削除することを検討すること。
- ・各指標に令和元年の現状数値を記載すること。
- ・交通に関する目標を施策に盛り込むこと。県との連携、二次交通、広域アクセスなどについて検討。
- ・スポーツについて施策に盛り込むこと。スポーツ合宿(スポーツツーリズム)、サイクリングなどを検討。

(委員長)

- ・現在の指標の順番は見づらいので、観光消費額、宿泊者数、入込率、外国人客数、外国人宿泊者数の順としてはどうか。
- ・数値目標の根拠が必要ではないか。観光客数は宿泊稼働率で割り戻して設定し、消費額に関しては物価上昇分を加味して設定するなどといったような書きぶりにしてはどうか。
- ・施策④では情報収集、情報発信の順とする。
- ・「市内外との連携による観光ネットワークの構築」という表現は再検討してほしい。
- ・将来像について、岸田総理が、住んでよし、訪れてよし、受け入れてよしという言葉を使っていたが、この表現に変えても良いかもしれない。
- ・人材不足については問題ないか。

⇒(副委員長) 人材育成はDMOの役割としている。

(副委員長)

- ・推進体制図について、飲食業者等、商工団体等、観光関連施設等の3つのくくりは観光関連事業者としてまとめたほうがいい。DMOのなかに7つのプレイヤーの代表で構成される事業推進委員会があり、本委員会との連携も入れたい。グレーでくくっている理由はよくわからない。
- ・「観光客の受け入れの整備」については着地整備を残してもらいたい。

(委員)

- ・グレーの枠は三次市の中ならば、事業者やOTA、JRなどとの連携を記載するとか、そうでなければわかりやすい見方ができるようにしてほしい。

(委員)

- ・交通事業者も入れてほしい。

⇒・推進体制の見直しをすること。

- ・「観光客の受け入れの整備」については着地整備の表現を活かせるよう検討すること。

(委員長)

- ・第5章と第6章は一つでいいのではないか。
- ・第7章と第8章は順番を入れ替え、また一緒に整理したほうがいい。

(委員長)

- ・委員長と事務局で整理した内容でパブリックコメント実施することでよいか。

⇒ 異議なし

5. その他

○第4回三次市観光戦略策定検討委員会は、3月を予定。

6. 閉会